

## 平成25年度 倉吉市小・中学生淀屋サミット概要

平成25年5月11日（土）、倉吉市内の児童生徒が倉吉のために自分たちができることを話し合う「倉吉市小・中学生淀屋サミット」を開催しました。

第5回となる今回は、第2回から第4回に参加し「菜の花プロジェクト」の取り組みを行ってきた高校生も参加しました。加えて、第1回に参加した大学生から、激励のメッセージも届きました。また、県立農業大学校、JA鳥取中央、国土交通省倉吉河川国道事務所、中部総合事務所の方も参加していただき、アドバイスや激励の言葉をいただきました。

### 1 目的

本市小・中学校の児童生徒代表が、市指定文化財であり倉吉最古の町屋建築である「倉吉淀屋」に一堂に会し、地域のために自分たちができることを話し合うことをとおして、本市に愛着をもつと共にまちづくりに貢献していこうとする態度を養う。

2 期 日 平成25年5月11日（土）13:00～16:30

### 3 参加者

小学校 児童代表41名  
中学校 各校生徒会執行部12名  
高校生 3名（1年生2名、3年生1名）

4 講 談 倉吉市の『淀屋の光と蔭』  
脇坂幸司氏（「倉吉談語の会」代表）  
（場所：豊田家住宅）



【講談：脇坂氏とともに記念撮影】

### 5 全体会（前半）

#### （1）平成21年度からの取り組み経過説明

菜の花プロジェクトを始めることを決めた平成21年度の淀屋サミットの様子から昨年度の取り組みまでを事務局で簡単に説明した。

#### （2）各学校の取り組み報告（概要）

【平成24年度の宣言文】

すべての小中学校が地域と協力して、

**つなげよう黄色いじゅうたんと地域の輪**

活動を進めていきます。



【各校写真1枚を使って報告】

- みんなで育てて黄色いじゅうたんができてうれしかった。
- 全校縦割り班で種とり、種まき、肥料やりに取り組んだ。
- 肥料をしっかりとやったので身長より高い菜の花が育った。
- 耕したり、種をまいたり、地域の方と協力して取り組んだ。
- プランターに植えて、道路や公園の入口に並べ、地域や観光客の人に見てもらった。
- 学校だけでなく、地域のいろいろなところで咲いた。
- 菜の花がたくさん咲いたので種とりにもがんばりたい。

- 自分の学校以外でも、市内で菜の花が咲いた黄色いじゅうたんがあり、倉吉の学校みんなで取り組んでいるのだなと思った。
- エコ活動にも取り組んだ。
- 地域の人と一緒にクリーン・クリーン活動にも取り組んでいる。
- 地域の人から、上手な育て方や肥料をやることを教えてもらいながら取り組めた。

### (3) 高校生の思いを発表

3人の高校生が自分たちの取り組んできた時のこと、また各学校での取り組みの様子を聞いての思いを発表した。

- たくさんの方に支えられながら「菜の花プロジェクト」に取り組んでいることに感謝することが大切だと思う。
- 先輩から受け継いだこの取り組みを、ぜひ今年も続けてほしい。
- 全校のみんなだけではなく、地域の方々とも協力して、さらに大きな取り組みにしてほしい。
- 倉吉市の小中学校のリーダーとしてこれからもがんばってほしい。



【先輩高校生が後輩にメッセージ】

### (4) 大学生から届いたメッセージ（抜粋）

「皆さんこんにちは。ぼくは、この春高校を卒業して県外の大学に進学して一人暮らしを始めたところです。今年もこの淀屋サミットのご案内をいただき、是非とも皆さんの話し合いを聞かせていただきたかったのですが参加できず残念です。  
(中略)

淀屋サミット最初の年、中学生のグループでの話し合いの中で、エコキャップやアルミ缶収集に力を入れている学校、グリーンカーテンをしている学校など他の中学校の取り組みを聞いてとても刺激を受けました。その堂々と胸を張り発表する姿を見て、当時生徒会長だったこともあり、何か全校で取り組めることがないか皆で話し合ったものです。  
(中略)

今年のこの会でぼくは『来年は進学して倉吉市にいないかもしれないけれど、倉吉を思った時誇らしく思えるようみんなも頑張ってもらいたい。』と言いました。今、倉吉から離れて暮らしていますが、離れてみて改めて倉吉のすばらしさを楽しみ感じています。今日の話し合いからまた良いアイデアが生まれ、倉吉のそれぞれの学校での取り組みが活発になることを祈っています。皆さん頑張ってください。』

### (5) 関係機関の方からのアドバイス

- J A鳥取中央……菜の花が広い面になった。とてもうれしく思う。地域の方の協力と先輩から受け継いだ成果である。仲間を増やしながら、愛情を持って取り組み、みんなの目を楽しませて華やかな気持ちにさせてほしい。
- 県立農業大学校…菜の花がよく咲いた。管理の仕方をさらに考え、次はもっと広い面にして欲しい。種を蒔く場所、種を蒔く時期、間引きの作業、肥料を与える時期など、地域の人や専門家に聞いたりしながら取り組むとっと良い花を咲かせることができると思う。



## 6 分散会の状況(倉吉淀屋)

### 【小学校分散会】

〔倉吉をよくするために取り組んだらよいと思うこと〕

〔菜の花プロジェクトについて〕

- 今年も取り組み、菜の花でいっぱいになりたい。じゅうたんのようには咲かせる。
- プランターで育てていく。
- 咲かせる範囲を広げる。
- 地域の人と一緒に取り組む。
- とれた種をお世話になった人、家族、地域にある会社等にプレゼントする。

〔菜の花プロジェクト以外〕

- リーフレットを作って倉吉をPRする。
- 地域のクリーン活動にも一緒に取り組む。  
（「ポイ捨て禁止ポスター」の作成や清掃活動）
- 高齢者に年賀状を送ったり、配食サービスを手伝ったりする。
- あいさつ運動に取り組む。



【小学校部会意見交換】

### 【中学校分散会】

〔倉吉をよくするために取り組んだらよいと思うこと〕

〔菜の花プロジェクトについて〕

- 種を蒔く範囲を広げる。
- エコキャップ集めに取り組む。
- 全校朝会等で呼びかけて、全校生徒の取り組みにする。
- 囲いを作って、組ごとに水やり等をして全校で取り組む。

〔菜の花プロジェクト以外〕

- 地区の運動会等でボランティアに取り組む。
- 当番を決めてあいさつ運動を生徒主体の取り組みにする。



【中学校部会意見交換】

〔宣言文の内容の検討〕 ※下記内容に決定

すべての小中学校が地域と協力して、

## つながり愛（合い）の活動

を進めていきます。

## 7 全体会（後半） \* 全体会の話し合いで今年度下記のことに取り組むことが決定

### 【全小中学校で取り組んだらよいと思うこと】

※菜の花プロジェクトについて

- ・強くたくましい菜の花のじゅうたんをつくる
- ・リーフレットを作って倉吉をPRする
- ・咲かせる範囲を広げる
- ・育て方を工夫する（種蒔きの時に砂をまぜる、蒔いたらすぐに肥料をやる等）
- ・「菜の花プロジェクト」について全校で取り組めるための工夫をする  
（全校朝会等でのよびかけ、組ごとに囲いを作って育てる等）
- ・地域の皆さんとつながりあいの運動に取り組む  
（ボランティア活動を行い地域貢献していく）

### 【各小中学校で取り組んだらよいと思うこと】

- （それぞれの学校で検討して取り組む）
- ・地域に広げるあいさつ運動に取り組む
- ・地域のクリーン活動にも一緒に取り組む  
（「ポイ捨て禁止ポスター」の作成や清掃活動）
- ・地域の人と街をきれいにする。  
（地域清掃にも取り組む）



## 8 倉吉市小・中学生淀屋サミット宣言



【中学生による宣言】

## 9 激励メッセージ

### ■国土交通省倉吉河川国道事務所

熱意を持って倉吉のことを考える姿に感動した。将来を担う皆さんと皆さんの取り組みを、地域の人たち一緒になって協力と応援をしていきたい。

### ■中部総合事務所県民局

皆さんの取り組みや話し合いに、年々進化を感じる。これからの皆さんにとって自信につながる活動へととなりつつある。緑化フェアでの活躍も含めて期待している。

## 10 児童生徒の感想

### 【小学生】

- 菜の花を咲かせることを中心に、みんなで協力して倉吉をすてきなまちにしていきたいと思った。
- 菜の花が大きく育つ方法を教えてもらえてよかった。
- 菜の花のことをさらに知ることができたし、淀屋サミットのねらいもわかってよかった。

### 【中学生】

- 「菜の花プロジェクト」を良い形で後輩に受け継いでいきたい。
- 菜の花への取り組み以外にも、すすんでごみ拾いをするなど、全体的なボランティアにも取り組んでいきたい。
- 他校の人と関わりながら話し合えてよかった。それを学校に持ち帰り全校で積極的に活動していくことが大切だと思った。

第5回となる今回の「淀屋サミット」は、53名の小中学生と3名の高校生、そしてこの春大学へ進学した大学生から送られたメッセージの参加で開催されました。日程の関係上、メッセージによる参加とはなりましたが、第1回目の参加者である大学生の参加が得られたことは、「菜の花プロジェクト」が脈々と受け継がれていくことを考えるとその意味は大きいと考えられます。今回淀屋サミットに参加した小中高生・大学生の高き志が、蒔いた菜の花の種が、やがて見事に倉吉のまちに咲き誇るように、それぞれの学校や地域に彩りを添え、絆を強くしていくことを願わずにはられません。

## 倉吉市小・中学生淀屋サミット

### 21世紀を生きる私たちの宣言

私たちが生まれ、そして暮らしているこの倉吉は、この地を愛した多くの人たちが豊かな歴史を創り、素晴らしい財産がたくさん残るまちです。

このように胸をはって誇れる伝統や文化、自然。その一つであるこの「倉吉淀屋」で、私たちはこの倉吉をさらに愛されるまちにするために、何ができるかについて話し合いました。

私たちはここに宣言します。

- 一 この倉吉のこれからを担うのは、ここに集う私たち小中学生であることを自覚し、自分たちで考え、さまざまな活動を行うことをとおしてまちづくりに取り組んでいきます。
- 一 私たちは、先輩達の思いをもとに話し合った内容を、自分の学校の仲間にしかりと“つたえ”、力を合わせながら“ひろげ”、これからのまちづくりに“つなげる”ために取り組んでいきます。
- 一 私たちは、自分たちの住んでいるふるさと「倉吉」を大切に思い、地域の人々とともにこれからのまちづくりに取り組んでいきます。

まずは、今日、この場で話し合ったことをもとに、すべての小・中学校が地域の方と協力して、

### つながり愛(合い)の

活動を進めていきます。

平成25年 5月11日